



H-D成田の伊藤さん。業界若手店長の筆頭格。サーキット走行が大好き。

で盛り上がったのでありました……。

**東の会議は
マザー牧場で開催!
まずは乳しぼりで
ウォームアップ!**

琵琶湖での会議から帰った翌日、今度は千葉のマザー牧場で東のビューエル会議が待っておりました。というわけで、さっそく東の点呼と参りましょう。

まずは、ビューエル山梨/井上さん、H-D レインボー/天田さん、H-Dグッドウッド/橋本さん、H-D成田/伊藤さんと今井さん、HSC/佐々木さん、ライダーランドヨーヨー/楊さん。フリーダムナナ多摩店/長尾さん、丸富オート販売・金沢店/小峰さんと大貫さんと総勢11名のビューエル・スペシャリストが集まってくださいました。



H-D成田の今井さん。なんだか素敵な27歳。たぶんこの人、女子にモテモテだ。

ひとまず、上のような記念写真を撮らせて頂きまして、まずはコチラの名物「牛の乳搾り」を体験して頂くことにいたしましょう。

で、ちなみに今回、現場をアテンドしてくださったのは、マザー牧場/宣伝課の宮崎さん。普通自動二輪の免許を持っているという、気さくなお嬢さんであります。

そして今回、お集まり頂いた方々は、やっぱり思った通り「牛の乳搾り」は初めてらしく、なんとなくおっかなびっくりの初体験。「ああっ、出たあ!」とまっ昼間から盛り上がるのであります。ま、確かに乳搾りと申しましても、絞る乳首が男性にとっては大変親近感のある形状でありますから、動揺するのもしいたしかたありません。ちなみに乳を絞る



丸富オート販売・金沢店の大貫さん。冷静に世の中を捉えている感じの人物。

ときの指使いは、夏木マリ「絹の靴下」とは逆の順番(要するに、人指し指から順に中指薬指、小指と握っていき)で動かしますからお忘れの無いよう、よろしくです……。

さて、本日最初の初体験を済ませましたらマザー牧場一番人気のジンギスカンを食べに向かいます。ちなみにラム肉が苦手な方には牛肉や豚肉も用意されておりますので、ココ





丸富オート販売・金沢店の小嶋さん。なんと、銃の所持が許される免許を持つ。

ならどなたでも気兼ねなく利用できますよね。

東のディーラーさんたちは、即決即断ノリがよろしい!

食事が配膳される迄の間、私はさっそくプレゼンを開始。「……で、西ではカクカクシカジカだったのですが、例えばこれは私のプランですけど、ビューエルのオーナーズクラブでマシンを調達して菅生の6耐に参戦し、応援団をつのって菅生に全国のビューエルが集結するなんてのは、どうですか?」

……すると「どうせやるならみんなで参加するってのはどうなの? 1台だけ走らせるのも寂しいし、みんなも参加して楽しめる方が喜んでくれるんじゃないかな?」と口火を



HDグッドウッドの橋本さん。当日は寒一中、自走で参加! バイク乗りの鏡。

切ってくれたのは天田さんであった。

「みんなで参加するなんて、素晴らしいですね! だったらマシンも全部同じスタイルで同じカラーリングにしてピットに並べたら、

かなりインパクトがあるでしょうね!」→「まあ、この絵のを作るんだったら、早く準備しないとなあ……」→「コレは(と、持参したCG画像のプリントを指さしながら)、あのエリックさんとHOGが走らせた、ルシファーズ・ハンマーのレプリカってことで考えてみたんですけど、今ならXB-RRのカウリングをそっくり使う手もありますよねえ」→「あっそれなら僕、街乗りでも使いたいです!」→「でも、アレいくらするんだっけ?」→「カーボンだから、高そうですね」→「だからと



HD東村山の橋本さん。意外と気だての良い27歳。とっても真面目で好印象。

いって勝手にコピーするわけにもいかないだろうし……」と直ぐに具体的な話に突入。そこでささず楊さんがこう切り出す。

「じゃあ例えば、シートはノーマルのRだっですすでにシングルシートになってるから、そのままいっちゃって、フロントだけ使ったら!」→「そういえば、アメリカのメーカーでリプレイスのフルカウルがあるって誰かが言っていましたよ」→「ああアレ、いくらだったっけなあ? 7万円とか8万円とか……」→「そんなもんかなあ」→「そんなもん……」。……と、話はもう各自でマシンを用意して、全員で菅生の6耐に参加するような雰囲気。「マシンは、どれくらい手を入れる?」→「入れなくてイイよ、ノーマルで」→「そうだよ



フリーダムナナ/多摩店の長尾さん。実に男らしい、頼れる兄貴分。

ね、順位なんて気にしなくてイイよ」→「参加したビューエルの中で順位がつけばイインじゃない?」→「そうねえ。でも、やっぱりブレーキだけはレースレベルのものに交換した方がいいよ」→「フフフ、そんなの大丈夫だよお〜」→「だってライダーズクラブのマシン、アレ、ノーマルのまんまでしょ?」→「そうでございます!」→「ほらあ……」と、もはや話はまとまったかの様。「あのお、ちなみに西の方では、菅生の6耐は参加するのが厳しいってことで、その対策として、ビューエルオーナーたちのDVD製作をするためのイベントを開催するって案を出したら、そっちの方向でドッと盛り上がったんですけど…」と申し上げると、「まあ、



HSCの佐々木さん。気のいいオジサマなんだけど、実はかなりの腕利き。

それはそれでイイじゃない。でもきつと、レースとなれば、マシンを持ってやってくるサ!」→「そうそう、日下くんなんかは当日、間違いなくサーキットにいるサ!」→「滝本くんとかもな」→「……そういえば糟野さんも、お前たち、自分たちがレース出るンやったら、菅生でもどこでも行くやるお〜って申されてましたねえ」→「そうでしょ!」→「大丈夫だよお〜」→「こういう話は、ヤレる人がヤルって決めて行かないと進まないからさあ」→「そうそう!」と勢いはもう止まらないのでありました……。

というわけで会議らしき話は、まあおかけた終了であります。食事のジンギスカンもたらふく頂いたので、今度は本日2度目の初体



ライダーズランドヨーヨーの楊さん。いつお会いしても紳士的で素敵な雰囲気。

験に誘いましょう。
実はみんなが乗馬初体験! バイク乗りなら一度は乗ろう。

そう、マザー牧場では、乗馬が体験できるのであります。で案の定、今日のメンバーには乗馬経験者はなし。誰もが初心者初体験。ま、要するにココに参加された誰もが今日のこの日、一律ハンデ無しのスタートとなるわ



馬に注意



H-Dレインボーの天田さん。まだまだ走りは現役の有名レーサー。アグレッシブ。

けであります。よってこの日より、乗馬においては先輩も後輩もなしてことですか。「では、まずは井上さんと天田さんから馬に乗って下さい！」と観光ガイドさんのように申し上げますと、さすが修羅場をくぐり抜けてきたオトコたちだけあって、いきなり颯爽と馬を操るではありませんか！「なんか、ハマっちゃいそう！」と井上さんは無邪気に申され、「やっぱり馬には意思があるから、バイクとは違うなあ」と天田さんは感心するのありました……。続いて橋本さん、伊藤さんが馬に乗り、今度は今井さん、佐々木さんへとバトンタッチ。続く楊さんは、乗馬イメージがピッタリで、長尾さんもマカロニウエスタンな感じ。小峰さん、大貫さんは「あの馬、



ビューエル山梨の井上さん。実は凄い経歴を持つ名チューナー。でも飄々とする。

なにもしてなくてもスラロームしてましたよお」と馬の親切心にツッコミを入れる。で、最後に東村山の橋本さんへと手綱はタッチされ、誰もローンレンジャーのようにウィリー(?)することもなく、無事、初乗馬をクリアしたのであります……。

今後もビューエル会議はつづく。初体験ツアーは心をつなぐ。

今回の「全日本Buell会議」では、参加して下さった皆さんが一緒になんらかの初体験をできるようセッティングさせて頂いた。ま、それなりの人生を歩んでこられている方々だけに真っ当なところでは、なかなかそうもイカンだろうと思い、ちょっと変わった



ロケーションでの会議開催を企てたのであります。いかがだったでしょ？

このように、今後はビューエルのオーナーさんたちも巻き込んで、まだまだ知らない人生の喜びを共有できるような催しを企画して行きたいと思うわけでありまして。もちろん、今回話をした様々なプランは、しっかりまとめて進めていきますので、今後のライダーズクラブに乞うご期待です！